

静岡大学FSS 2022年度入校生 研究力発展コース
アントレプレナーシップワークショップ

第1回目 2023年11月 5日(日) 13:30~16:30

第2回目 2023年12月16日(土) 10:00~13:00

プログラム展開案

協力：公益財団法人 静岡県産業振興財団

講師：スター精密株式会社 出野勝也氏

講師：株式会社サンファーマーズ 稲吉正博氏

講師：株式会社インダテック 石田 尚氏

1 事前課題 自分が現在行っている研究をベースに、社会実装の具体的なアイデアを提案する。

提出：FSS事務局宛 10月22日(日) 締り → 各企業の講師が確認

①自分の研究の紹介については、大まかに「こんな内容で」でよい。具体的なデータ、将来論文や学会に発表する予定のものは掲載しない。

②プレゼン資料はパワーポイント等で作成する。長文は避ける。図や写真などの非言語的表現方法を多用して、分かりやすく、印象に残りやすい資料にする。

③口頭発表は、パラグラフライティングの技法を参考にして、端的に要点を伝えるようにする。

④提案には、次のような観点を盛り込む。

※「誰」は自分の経験を元に作り出した架空の人物。

観点1：誰の問題を解決をしようとするか？

観点2：その人はどのような状況にあるのか？

観点3：その人はどのように解決したいのか？

観点4：そのために自分の研究で何ができるのか？

第1回目 2023年11月 5日(日) 13:30~16:30

プレゼンテーションと協議
(グループ毎)13:30~14:30

代表案の選出
14:30~15:00

第2回目への準備
15:05~16:00

振り返り
16:00~16:30

チームA

発表5分/人

質疑5分/人

チーム案決定のための協議
・決定 30分

プロジェクトの
設計 55分

チームB

発表5分/人

質疑5分/人

チーム案決定のための協議
・決定 30分

プロジェクトの
設計 55分

チームC

発表5分/人

質疑5分/人

チーム案決定のための協議
・決定 30分

プロジェクトの
設計 55分

全体会
振り返り
情報共有
30分

2回目に向けた準備 チーム内での役割分担

- ①【メインのプロジェクト案を作成】チームの代表案の提案者は、骨格となる起業デザインを作成する。
- ②【起業デザイン作成に必要な情報収集】各班の講師の助言にもとづき、想定される市場(どんな人が、製品やサービスを必要とするか)など、できる限り客観的な情報を収集し、資料としてまとめる。

2 2回目に向けた課題

各班で選出した案をもとに、自分たちのチームを1つの組織とみなし、その組織がどのようなビジネス機会を追求するかを考える。

- ①プレゼン資料はパワーポイント等で作成する。長文は避ける。図や写真などの非言語的表現方法を多用して、分かりやすく、印象に残りやすい資料にする。
- ②提案には、次のような観点を盛り込む。

自分たちの強みは何か？	社会にどんなチャンスがあるか？
自分たちの弱みは何か？	社会にどんな脅威があるか？

起業デザインづくり

- ①チームリーダーを決め、幹となるアイデアを作成する。
- ②起業プランを作成する上で必要な情報(項目)を洗い出す。
- ③リーダー以外のメンバーが、調査する情報(項目)を手分けし、可能な手段で情報収集を行う。
- ④2回目のワークショップでは、①と③を総合して班ごとの起業プランのプレゼンづくりを行う。

第2回目 2023年12月16日(土) 10:00～13:00

課題のすり合わせとグループ案の作成
(チーム毎)10:00～11:30

起業プランのプレゼン(全大会)
11:30～12:30

振り返り
12:30～13:00

チームA	プレゼン資料作成 90分	発表10分/班 協議10分/班	全体会 振り返り 情報共有 30分
チームB	プレゼン資料作成 90分		
チームC	プレゼン資料作成 90分		

活動のゴール：教育活動の一環として

- ①地球、人類、地域社会を視野に入れ議論ができたか。
- ②科学や技術の社会実装を試みる時に必要なプロセスを知ることができたか。
- ③既存の視点や価値観にとらわれず、新たな学術的な問いや研究の価値を再発見できたか。
- ④不確実性の多い社会課題に対して、オープンエンドの問いを考え抜く姿勢を身につけることができたか。
- ⑤未来の科学者、技術者としての自分自身の行動について、新たな可能性を知ることができたか。